



“共同体と信仰”

庭野平和財団は、宗教的精神にもとづく平和のための活動と研究を推進する事業の一つとして、ブータンの第四代国王が国づくりの哲学的指針として提唱されたGNH（Gross National Happiness: 国民総幸福）をメインテーマにしたシンポジウムを2008年から毎年開催しました。

昨年は、新たに、“共同体に溶け込んでいる文化としての宗教の役割”をテーマにしたシンポジウムを開催し、私たちが直面している現代的な諸課題への取り組みのあり方について議論しました。

本年は、“共同体と信仰”をテーマに、科学的な合理性一辺倒になりがちな現代社会が手離し、失いかける一方で、特に若い世代が感じ、取り戻そうとしている信仰の世界や死者の世界についてシンポジウムを開催します。

1. 日時：2020年11月5日（木）午後4時30分～午後6時10分（100分）

2. 会場：オンライン開催

3. テーマ：「共同体と信仰」

4. プログラム：（予定）

（敬称略）

16:30 開会挨拶

16:35 基調講演 内山 節

17:05 報 告 弓削田 彰子 日野岳 史乗

17:35 ディスカッションと質疑応答

18:10 まとめ 閉会

5. 登壇者紹介

内山 節（うちやま たかし）

哲学者。存在論、労働論、自然哲学、時間論において独自の思想を展開。1970年代から現在まで、東京と群馬県上野村との往復生活を続けている。著書に『新・幸福論「近現代」の次に来るもの』（新潮選書）、『修験道という生き方』（新潮選書）など多数。

弓削田彰子（ゆげた あきこ）

東洋大学印度哲学科、立教大学大学院21世紀社会デザイン科を卒業、修士。
現在、IT企業の人事職にて就業中。

日野岳史乗（ひのおか ふみのり）

岩手県盛岡市にある真宗大谷派寺院、専立寺の住職。

“モヒカン頭で後ろ指をさされつつ、生者と死者と子どもたちに追われる毎日”（談）

6. 参加費： 無 料

7. 申し込み方法： 以下のURLから申込みフォームに入力して下さい。

（最後にフォーム末尾の送信を押して下さい）

<https://forms.gle/YFtbaHFKNvae3ted7>

8. お問い合わせ先： info@npf.or.jp（担当：高谷、仲野）